

# 4つの視点から見る観光地選択動機 —静岡県熱海市を事例に—

渡邊 まりも

## 【要旨】

バブル期に流行した熱海旅行が、今再び流行となっている。静岡県熱海市は、首都圏近郊の温泉地として、一度は没落したものの人気を取り戻している。それでは、人々は何を求めて熱海にやってくるのだろうか。本稿では、「熱海に来る人々は、何を求めて旅行するのか」というリサーチ・クエスチョンを設定する。

このリサーチ・クエスチョンに対し、熱海市観光建設部観光経済課による2018年のアンケート調査結果を鑑み、①熱海の歴史と地理的要因、②コンテンツ・ツーリズムとの関係、③昭和レトロブームとの関係、④観光の情報収集手段の変容の4つの視点から調査、考察する。本稿では、この4つの分析視点からの調査と分析を行い、リサーチ・クエスチョンに対する答え「アクセス良好で手軽な非日常体験を求めて旅行している」を導出する。

## 【講評】

熱海を事例として、観光地の選択理由を解明している大変ユニークな論文である。昨今、熱海市が急激に活性化した理由も、多様な視点からアンケート分析しているため説得力が高い。リサーチクエスチョンとインプリケーションが論理的に対応していることから、学術論文として高く評価することができる。その一方で、既存のデータベースを活用することに問題はないが、その既存データを生かしてクロス分析などをかけることで、多少なりとも分析レベルを上げることも必要ではなかったかと考えられる。また、参考文献の作成などの点においてミスが散見された。以上の課題は、本稿の持つ独自性に比べれば軽微であることから、優秀論文の価値を減ずるものではない。